

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2019年第2四半期（4月～6月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 治安情勢

○ シャルジャ警察は、銀行又は同職員を装った詐欺犯によるメッセージに関する注意喚起を発表した。同警察では、詐欺犯が口座から資金を詐取することを目的として、携帯電話等を介した偽のテキスト・メッセージを被害者に送り、又は偽のウェブ・サイトを利用させ、口座番号、デビット・カード番号、PIN番号等の個人情報を提供するように要求する事案を多数認知しているとのことである。

同警察は、信頼性がないとみられるオンライン・サービスではこうした情報を提供せず、口座取引の際には銀行等の公式な手続を用いるよう、呼び掛けている。

○ ドバイ税関は、2019年第1四半期中、ドバイ各地の海空港等において421件の薬物密輸事案を摘発したと発表した。摘発された薬物は、トラマドール（鎮静剤）、カプタゴン（精神刺激薬）、アヘン樹脂、ヘロイン、コカイン、マリファナ、覚醒剤、大麻種子等、多岐に及ぶ。

○ ドバイ警察は、「スマート・パトロール・プロジェクト」として、最新機能を搭載したパトロール車両を今年中に2,000台配備すると発表した。最新鋭のスマート・システムと人工知能技術を用いたもので、顔認証、電子追跡機能、運転手認識レーダー等を搭載するとされる。収集した全てのデータは瞬時にオペレーション・ルームに転送され、専門の部署で分析される。同警察では、2020年までに同プロジェクトを完成させるとしている。

(2) テロ

特記事項なし。

(3) デモ・騒擾等

特記事項なし

(4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

(5) 日本人に対する犯罪

特記事項なし。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人等

○ フジャイラ首長国（6月14日報道）

湾岸諸国出身の男性が、フジャイラの海岸においてアラブ人の男性に対して家まで送ると誘引して車に乗せ、カルバ（オマーン湾に面するシャルジャ首長国の飛び地）に連れて行き、ほかの男性3人とともに性的な暴行を加えた。犯人らは、被害者が逃げようとする車のトランクに被害者を押し込めて監禁。被害者は1時間半後に救出されたが、重度の酸欠により死亡した。犯行当時、犯人は薬物の影響下にあったとされる。

(2) 強姦・強制わいせつ

○ ドバイ首長国（4月4日発生）

デイラ地区のナイフに所在する商業施設内において、29歳のモロッコ人の男が、11歳のインド人の少女の身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。届出を受けた警察が店内の監視カメラ画像を精査するなどし、発生から2日後に被疑者を逮捕した。

○ ドバイ首長国（4月17日発生）

商業施設内において、36歳のインド人の男が、母親らと一緒に来店していた7歳の少女の身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。犯行時、母親は買い物中で、少女は兄弟とともに同施設内のプレイング・コーナーで遊んでいた。

○ ドバイ首長国（4月18日発生）

アル・クサイス警察署管内において、19歳から25歳の男5人組が、16歳のUAE人の少年に車に乗るように誘引して家屋に連れ去り、刃物を見せて脅迫した上で、性的な暴行を加えた。被害者からの届出により、犯人らは4月29日に逮捕された。

○ ドバイ首長国（4月21日発生）

マリナーナ地区において、25歳のパキスタン人のタクシー運転手が、乗客として乗せた24歳のフィリピン人女性の身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。被害女性は、ジュメイラ・レイク・タワーズからインベストメント・パークまで移動するところであった。

○ ドバイ首長国（4月25日発生）

アル・ラファア警察署管内において、34歳のインド人の男が、エレベータ内において13歳のインド人の少女の身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。犯行前、犯人は屋外から被害少女と5歳の弟を尾行していた。建物内の監視カメラに同状況が記録されており、犯人は4月27日に逮捕された。

○ ドバイ首長国（5月発生）

34歳のインド人の男が、運転手として専属契約をしているシリア人家庭（アル・バシャ地区に居住）の娘2人を乗せて運転中、助手席に乗っていた7歳の少女の身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。後部座席に乗っていた9歳の姉が同状況を目撃しており、姉妹が母親に事情を説明し、母親が警察に届け出て、犯人は逮捕された。犯人は容疑を否認しているとのことである。

○ ドバイ首長国（5月発生）

アル・バシャ地区において、33歳のパキスタン人のスクールバス運転手が、車内に最後まで残っていた12歳の少年に向けて下腹部を露出し、また、同少年の下衣を脱がそうとした。同少年は運転手を足蹴りにして車外に逃げ、自宅に戻って父親に事案を告げ、運転手は少年に対する性的虐待の容疑で逮捕された。

(3) 強盗

○ ドバイ首長国（4月11日発生）

アル・ラファア地区において、31歳のシリア人男性と35歳のイエメン人男性の2人組が、銀行から出てきた55歳のインド人男性を殴打するなどして襲撃し、所持していた現金5万ディルハムを強奪した。犯人らはバイクに乗って逃走したが、届出を受けた警察が捜査した結果、犯歴などから犯人らを突き止め、4月28日に逮捕した。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。